科目ナンバリング	U-LAS06 20004 LJ41						
授業科目名<英訳>	環境と法 Environment and the Law			担当者所属職名・氏名	地球環境学舎 教授　宇佐美　誠 地球環境学舎 助教　竹前　由美子		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	法・政治・経済(各論)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	金3/金4	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

本科目の目的は、環境問題の種類・構造や、環境法政策の原理・手法について、法学・政策分析・ミクロ経済学等の知見を活用しつつ概説することにある。

開講形態は担当者によってやや異なる。授業期間の前半では、討論型授業の形式により開講される。各回授業は、約50分間の講義セッションとそれに続く約40分間の質疑・討論セッションとに二分され、授業中の学生の発言等に基づいて平常点の採点が行われる。後半では、各回授業において、前回授業の振り返りの後に講義セッションが展開される。毎回のリアクションペーパーの提出とその内容に基づき平常点の採点が行われる。

[到達目標]

環境問題と環境法・環境政策について、基礎的知識を得る。

[授業計画と内容]

次の主題について授業を行う。

1. 本科目の概観：基本性格と授業方法【1回】（宇佐美・竹前）
2. 環境問題の構造：外部性、コースの定理【2〜3回】（宇佐美）
3. 環境法政策の手法と原理：規制的手法・経済的手法、汚染者負担原則・予防原則【3〜4回】（宇佐美）
4. 環境政策の実施とその主体：ポリシーミックス、国際機関、国内公共主体、民間主体【2〜3回】（竹前）
5. 個別政策と今後の環境政策：気候変動・生物多様性・持続可能性ほか【3〜4回】（竹前）

授業回数は、フィードバックを含めて全15回とする。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

授業期間の前半には、座席表を作成した上で、各回授業の質疑・討論セッションにおける履修者の発言を質・量の両面から厳密に評価して、座席表に記録し、その記録に基づいて平常点を採点する。後半は、各回授業におけるリアクションペーパーの提出とその内容に基づき平常点を採点する。授業期間全体を通じて、出席による平常点への加点はないが、欠席・遅刻・早退は減点対象となる。

平常点（50%）と授業期間中に実施する2回の小テスト（25%×2）の点数とを合計して、最終成績を確定する。

環境と法(2)へ続く↓↓↓

環境と法(2)

[教科書]

予習用資料としてプリントを事前配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

履修者は、前半には、毎回の授業で十分な予習に基づく積極的な発言を期待され、後半は、十分な予習が求められる。

[その他（オフィスアワー等）]

「環境と法」は、応用的かつ学際的な科目であり、法学・ミクロ経済学をそれぞれ応用するという側面をもつ。そこで、履修要件とはしないものの、これらの科目をあらかじめ履修するか、あるいは本科目と並行して履修することを勧める。

本科目は、同一曜日の2つの時限におおよそ同一の授業内容で開講されるが、授業内容の詳細が異なりうる。そのため、履修者は、履修登録したのとは別の時限に出席・受験しても採点されない。

第1回授業時に、授業の進め方の詳細な説明と第2回授業用の予習資料の配布とを行うので、履修希望者はかならず第1回授業に出席すること。

[主要授業科目（学部・学科名）]